

健康モーニング

2023 August

No.

99

発行所 ■ 一般財団法人 近畿健康管理センター
発行人 ■ 木村 隆
〒520-0812 滋賀県大津市木下町10番10号
TEL.077(525)3233

- 創立50周年あいさつ.....2
- 研究活動.....3
- 法改正・医療情報.....4-5
- KKCの取組み.....6-7

KKC 近畿健康管理センター





創立50周年のごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。1973年4月に創立した弊財団は、本年4月1日に創立50周年を迎えました。これもひとえに長年にわたる皆様の温かいご支援とご愛顧の賜物と深く感謝申し上げます。

弊財団は労働者を労働災害や職業性疾病、職業関連疾患から守るべく設立されました。その後、高度成長時代の終焉、冷戦終結を迎える中、生活習慣病予防が事業場の保健衛生活動に加わったことで、弊財団への社会的期待が大きくなり、今日への発展に繋がっています。

しかし、その後の少子高齢化、人口減少といった社会の変化により、労働者を取り巻く環境も大きく変化しております。働き方改革により、これまでの画一的な働き方ではなく、場所や時間にとらわれない多様な働き方が実現されました。健康管理についても、労働災害や職業性疾病を防ぐだけでなく、「健康な人がより健康になる」ことが求められており、これまで以上に私たち総合健康管理機関の役割に大きな期待を寄せていただいていることを実感しております。

創立50周年を機に、スローガン「50周年の感謝とともに、新たな挑戦へ」を掲げました。新たな挑戦のひとつとして、社内初となる総合健診車の導入を計画しております。弊財団が誇る品質の高い健康サービスをこれまでお届けできなかった地域、環境のお客様へお届けしたいという思いを形にいたします。

これからも社会とお客様に寄り添い、新しい価値の創造を通じて、更なる貢献を果たせるよう、役職員一丸となって挑戦し続けてまいります。皆様のより一層のご愛顧、ご支援を心よりお願い申し上げます。

一般財団法人 近畿健康管理センター

理事長 木村 隆

第52回滋賀県産業医学会

第52回滋賀県産業医学会にて演題発表を行いました。

当センターにおけるクラウド健診の取り組み

○中川翔太¹、須内杏衣¹、三好由香¹、富一弘¹、井狩清¹、小山康弘¹、橋本伊織¹、一瀬葉子¹
(1：(一財)近畿健康管理センター(KKC)滋賀事業部)

I. はじめに

当センターではDX推進とSDGsの一環として、クラウド健診を2022年度から開始した。

健診当日、受診票を使用せず、各検査の測定データは全てデジタル化し、リアルタイムに進捗状況や結果などをクラウドサーバー上で管理している。

今回、クラウド健診後の「お客様Webアンケート」「実務者アンケート」「お客様の声」の集計・検証を行い、受診者・担当者及び産業医の満足度 向上と健診精度向上及び健診効率向上に活用する。

II. 対象及び方法

当センターで、2022年4月1日～2023年3月31日までにクラウド健診を受診された(33,189名)と担当者・産業医及びクラウド健診実務者(239名)を調査対象とした。統計解析は、各収集項目について、割合の比較、分割表(クロス集計表)を作成し、検証を行った。

III. 結果

《お客様Webアンケート》

- ①【Web問診入力について】全体の77%の受診者が「わかりやすい」との回答だった。年齢階層別においては、「わかりにくい」の回答比率は20代で最も高く、60代が最も低かった。
- ②【健診項目について】全体の98%の受診者が「理解していた」との回答だった。年齢階層別においては、「理解していなかった」の回答比率は20代で最も高く、60代が最も低かった。
- ③【健診順序について】全体の73%の受診者が「わかりやすい」との回答だった。年齢階層別においては、「わかりにくい」の回答比率は20代で最も高く、30・60代が最も低かった。
- ④【セルフ健診について】全体の74%の受診者が「簡単」との回答だった。年齢階層別においては、「難しい」の回答比率は20代で最も高く、60代が最も低かった。
- ⑤【検査データ確認について】全体の79%の受診者が「わかりやすい」との回答だった。年齢階層別においては、「わかりにくい」の回答比率は20代で最も高く、60代が最も低かった。

《実務者アンケート》

実務者アンケートについての内訳は①健診運用20%②システム改善15%③健診会場14%④シフト13%⑤健診効率12%⑥通信障害12%⑦機器搬入7%⑧研修・教育5%⑨業務効率3%だった。

《お客様の声》

【担当者・産業医からの声】

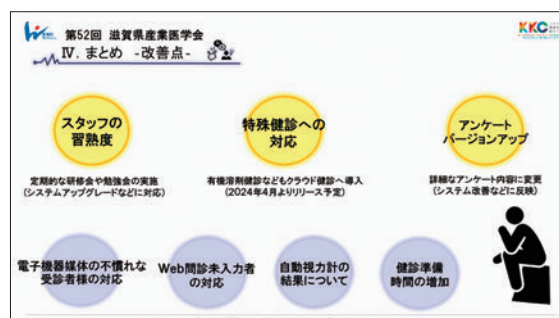
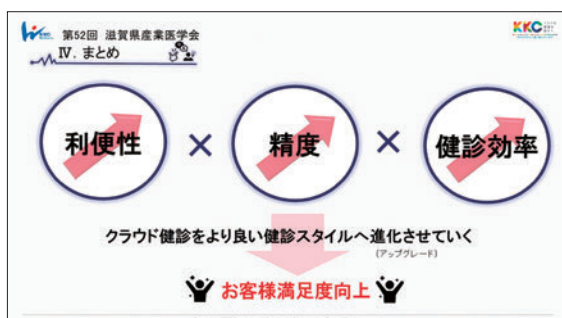
- ・医師の意見欄の箇所をWebアドバイスから出力すると、幅も狭くなり、非常に見にくくなる。
- ・画面上にどこの団体の結果を見ているかわかるように、団体名を表示されるようにしてほしい。

IV. まとめ

お客様Webアンケートについては、クラウド健診に対して、年代が上がるにつれてネガティブな意見の割合増加が予測された。

しかし、「わかりやすかった」「簡単」等の意見の割合が多く、受診者様にとってもクラウド健診導入のハードルは高くはないとの結果となった。

実務者アンケートについては、社内に関する項目が約8割を占め、「健診運用」や「システム改善」に関する意見が多く、今後、健診運用の改善とシステムのアップグレードを定期的に行っていく必要がある。今回の結果で明らかになった改善点を再検証し、クラウド健診をより良い健診スタイルへアップグレードすることで『お客様満足度向上』に繋げていきたい。



法改正・医療情報

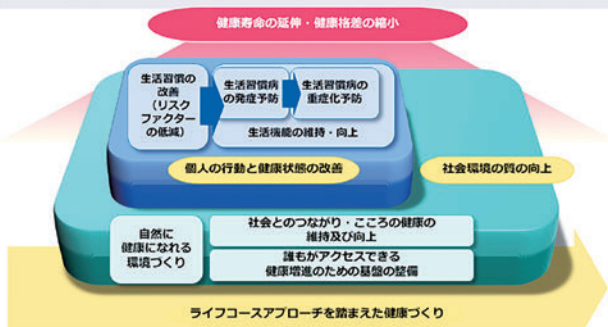
令和6年4月1日から

- 1.「21世紀における第三次国民健康づくり運動(健康日本21(第三次))」開始
- 2.「第4期特定健康診査・特定保健指導」開始

健康日本21(第三次について)

図表1：健康日本21(第三次)の概念図

全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現のために、以下に示す方向性で健康づくりを進める



健康日本21(第三次)推進のための説明資料より

<国民の健康の増進の推進に関する基本的な方向>

1.健康寿命の延伸と健康格差の縮小に関する目標

目標	①健康寿命の延伸	②健康格差の縮小
----	----------	----------

2.個人の行動と健康状態の改善に関する目標

(1)生活習慣の改善

目標			
栄養 食生活	①適正体重を維持している者の増加	②児童・生徒における肥満傾向児の減少	③バランスの良い食事を摂っている者の増加
	④野菜摂取量の増加	⑤果物摂取量の改善	⑥食塩摂取量の減少
身体活動 運動	①日常生活における歩数の増加	②運動習慣者の増加	
	③運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少		
休養・睡眠	①睡眠で休養がとれている者の増加	②睡眠時間が十分に確保できている者の増加	③週労働時間60時間以上の雇用者の減少
飲酒	①生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している者の減少	②20歳未満の者の飲酒をなくす	
喫煙	①喫煙率の減少	②20歳未満の者の喫煙をなくす	③妊娠中の喫煙をなくす
歯・口腔の健康	①歯周病を有する者の減少	②よく噛んで食べることができる者の増加	③歯科検診の受診者の増加

(2)生活習慣病(NCDs：非感染性疾患)の発症予防・重症化予防

目 標			
がん	①がんの年齢調整罹患率の減少	②がんの年齢調整死亡率の減少	③がん検診の受診率の向上
循環器病	①脳血管疾患・心疾患の年齢調整死亡率の減少	②高血圧の改善	
	③脂質（LDLコレステロール）高値の者の減少	④メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少	
	⑤特定健康診査の実施率の向上	⑥特定保健指導の実施率の向上	
糖尿病	①糖尿病の合併症の減少	②治療継続者の増加	③血糖コントロール不良者の減少
	④糖尿病有病者の増加の抑制	⑤メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の減少（再掲）	
	⑥特定健康診査の実施率の向上（再掲）	⑦特定保健指導の実施率の向上（再掲）	
COPD	COPDの死亡率の減少		

(3)生活機能の維持・向上

目標	①ロコモティブシンドロームの減少	②骨粗鬆症検診受診率の向上	③心理的苦痛を感じている者の減少
----	------------------	---------------	------------------

3.社会環境の質の向上に関する目標

(1)社会とのつながり・こころの健康の維持及び向上

目標	①地域の人々とのつながりが強いと思う者の増加	②社会活動を行っている者の増加	③地域等で共食している者の増加
	④メンタルヘルス対策に取り組む事業場の増加	⑤心のサポーター数の増加	

(2)自然に健康になれる環境づくり

目標	①「健康的で持続可能な食環境づくりのための戦略的イニシアチブ」の推進	②「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりに取り組む市町村数の増加
	③望まない受動喫煙の機会を有する者の減少	

(3)誰もがアクセスできる健康増進のための基盤の整備

目標	①スマート・ライフ・プロジェクト活動企業・団体の増加	②健康経営の推進
	③利用者に応じた食事提供をしている特定給食施設の増加	④必要な産業保健サービスを提供している事業場の増加

4.ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりに関する目標

目標			
こども	①運動やスポーツを習慣的に行っていないこどもの減少(再掲)	②児童・生徒における肥満傾向児の減少(再掲)	
	③20歳未満の者の飲酒をなくす(再掲)	④20歳未満の者の喫煙をなくす(再掲)	
高齢者	①低栄養傾向の高齢者の減少	②ロコモティブシンドロームの減少(再掲)	③社会活動を行っている高齢者の増加
女性	①若年女性のやせの減少	②骨粗鬆症検診受診率の向上(再掲)	
	③生活習慣病(NCDs)のリスクを高める量を飲酒している女性の減少	④妊娠中の喫煙をなくす(再掲)	

第4期特定健康診査・特定保健指導について

特定健診・特定保健指導制度とは、『医療精度改革大綱』(平成17年12月1日政府・与党医療改革協議会)の考え方を踏まえ、生活習慣病予防の徹底を図るため、平成20年4月から、高齢者の医療の確保に関する法律により、保険者に対して、内臓脂肪の蓄積に起因した生活習慣病に関する健康診査及び特定健診の結果により健康の保持に努める必要がある者に対する保健指導の実施が義務付けられたものです。

令和6年度に第4期特定健康診査計画が開始されることを見据え、「第4期特定健診・特定保健指導の見直しに関する検討会」にて議論され、実施状況や課題を踏まえて改訂されます。

<主な変更点>

1. 特定健康診査

	改訂内容	現 状
基本的な健診項目	空腹時中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dL}$ 随時中性脂肪 $\geq 175\text{mg/dL}$ (食直後(食後3.5時間未満)を除く)	中性脂肪 $\geq 150\text{mg/dL}$
標準的な質問票	現在、たばこを習慣的に吸っていますか。 (※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、条件1と条件2を両方満たす者である。 条件1：最近1か月間吸っている 条件2：生涯で6か月間以上吸っている、又は合計100本以上吸っている) ①はい(条件1と条件2を両方満たす) ②以前は吸っていたが、最近1か月間は吸っていない(条件2のみ満たす) ③いいえ ④②以外)	現在、たばこを習慣的に吸っている。 (※「現在、習慣的に喫煙している者」とは、「合計100本以上、又は6ヶ月以上吸っている者」であり、最近1ヶ月間も吸っている者) ①はい ②いいえ
	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度はどのくらいですか。(※「やめた」とは、過去に月1回以上の習慣的な飲酒歴があった者のうち、最近1年以上酒類を摂取していない者) ①毎日 ②週5～6日 ③週3～4日 ④週1～2日 ⑤月に1～3日 ⑥月に1日未満 ⑦やめた ⑧飲まない(飲めない)	お酒(日本酒、焼酎、ビール、洋酒など)を飲む頻度 ①毎日 ②時々 ③ほとんど飲まない(飲めない)
	飲酒日の1日当たりの飲酒量 日本酒1合(アルコール度数15度・180mL)の目安：ビール(同5度・500mL)、焼酎(同25度・約110mL)、ワイン(同14度・約180mL)、ウイスキー(同43度・60mL)、缶チューハイ(同5度)・約500mL、同7度・約350mL ①1合未満 ②1～2合未満 ③2～3合未満 ④3～5合未満 ⑤5合以上	飲酒日の1日当たりの飲酒量 日本酒1合(180mL)の目安：ビール500mL、焼酎(25度(110mL)、ウイスキーダブル1杯(60mL)、ワイン2杯(240mL) ①1合未満 ②1～2合未満 ③2～3合未満 ④3合以上
	生活習慣の改善について、これまでに特定保健指導を受けたことがありますか。 ①はい ②いいえ	生活習慣の改善について保健指導を受ける機会があれば、利用しますか。 ①はい ②いいえ

2. 特定保健指導(評価体系の見直し)

改訂内容		現 状				
評価体系	プロセス評価＋アウトカム評価で180ポイント 支援Aと支援Bの区別を廃止		プロセス評価のみで180ポイント			
	プロセス評価	基本的なポイント	最低限の介入量			
	個別支援	1 回70 P	10分	個別支援 A	5 分20 P	120 P
	グループ	1 回70 P	40分	個別支援 B	5 分10 P	20 P
	電話支援	1 回30 P	5 分	グループ A	10分10 P	120 P
	メール支援	1 往復30 P		電話支援 A	5 分15 P	60 P
	健診当日面談	20 P		電話支援 B	5 分10 P	20 P
	健診 1 W以内面談	10 P		メール支援 A	1 往復40 P	
	アウトカム評価			メール支援 B	1 往復 5 P	
	腹囲2cmかつ体重2kg減	180 P	・特定健診と比較する	支援A（積極的関与タイプ） 支援B（励ましタイプ）		
	腹囲1cmかつ体重1kg減	20 P				
	食習慣の改善	20 P	・2か月以上継続して いること ・事前に目標設定して いること			
	運動習慣の改善	20 P				
	喫煙習慣の改善	30 P				
	休養習慣の改善	20 P				
その他の生活習慣の改善	20 P					
分割実施	特定健康診査実施日から 1 週間以内であれば、初回面接の分割 実施として取り扱えるよう条件を緩和		特定健康診査当日にすべての検査結果が判明しない場合でも、 初回面接の分割実施を可能とする			

健康増進に関する施策の改訂に合わせてKKCのサービス内容も改訂し、お客様の健康への取組みを支援させていただきます。お気軽にご相談ください。

e-検査ナビ®を搭載した胃部検診車の導入

公益財団法人JKAから「2022年度 検診車の整備 補助事業」の補助金交付を受け、胃部X線デジタル検診車を導入しました。この車両は、蓄電池を搭載しています。既存車両に搭載していた発動発電機とは異なり、化石燃料を使用しないため環境に配慮した車両となっています。

また、検査支援システムとしてe-検査ナビ®が搭載されており、胃部X線検査中に必要な動きをモニターでイラストと文字で伝えることができたり、外国語での説明音声流すことができたりと、聴覚障がいの方や外国人にも検査内容等を分かりやすく説明できる仕様となっています。

KKCでは安心して受診できる健診環境を目指して、今後も取組みを進めてまいります。



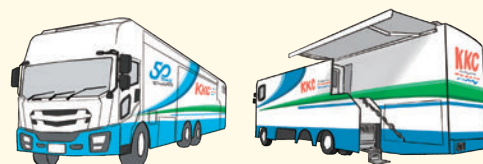
KKCホームページでのチャットボットの導入

KKCホームページにチャットボットを導入いたしました。お問合せ内容に合わせて質問を選択いただくことで、より迅速に必要な情報をご提供できるようになりました。

総合健診車の製作

現在、総合健診車の導入に向けて車両の製作に取り組んでいます。総合健診車は、車両1台で一般健康診断の項目を実施できる車両です。事業所の建屋内に健康診断をする十分な環境が確保できない等の事情があっても、総合健診車の駐車スペースが確保できれば車両の中で一般の健康診断項目が実施できます。KKCでは、「健診センターがあなたの街へ」をキャッチコピーに、お客様の利便性を考えた健康診断を提供いたします。

総合健診車は2023年秋頃完成予定です。



2022年度 KKCソーシャルプラン

「KKCソーシャルプラン」は、事業の標準化ならびに効率化の活動によって捻出できた節減費用の一部を、各地での環境保全(緑化推進等)、医学・医療に係る教育・研究や予防医療を推進する団体等に寄付するものです。この活動は2008年度から「KKC環境コミュニティプラン」としてスタートし、2014年度から活動コンセプトを拡大した「KKCソーシャルプラン」において継続的に展開しております。

寄贈目的	寄贈先	寄付金額	目録贈呈日
環境保全活動支援	津市緑化基金(三重県津市)	¥100,000	2023年 2月 9日
	滋賀応援寄附(滋賀県)	¥100,000	2023年 2月28日
医学・医療に係る教育・研究や予防医療支援	(一社)名古屋ピンクリボンフェスタ実行委員会(愛知県名古屋市)	¥50,000	2022年10月 1日
	国立大学法人 三重大学大学院 医学系研究科 臨床医学系講座 脳神経外科学	¥100,000	2022年12月 8日
	国立大学法人 三重大学大学院 医学系研究科 臨床医学系講座 消化器内科学	¥100,000	2022年12月 8日
	滋賀県がん患者団体連絡協議会	¥100,000	2023年 3月22日
	立命館大学 総合科学技術研究機構 スポーツ健康科学研究所	¥50,000	2023年 3月24日

診る健康から創る健康へ ●あなたの街で健康づくりをしっかりサポート●

KKC ウエルネス 東京日本橋健診クリニック



〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-14 アルゴ日本橋ビル1F
TEL **03-5500-6777** FAX **03-5500-6778**
●東京メトロ 日比谷線・東西線 茅場町駅(4b出口)より徒歩5分
●東京メトロ 半蔵門線・水天宮前駅(2番出口)より徒歩5分



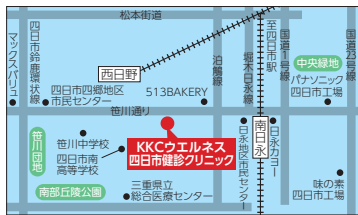
KKC ウエルネス 名古屋健診クリニック



〒460-0008 名古屋市中区栄2-10-19 名古屋商工会議所ビル11F
TEL **052-331-2325** FAX **052-331-2327**
●地下鉄東山線・鶴舞線伏見駅(5番出口)より南へ徒歩5分



KKC ウエルネス 四日市健診クリニック



〒510-0891 三重県四日市市日永3丁目5番37号
TEL **059-253-7426** FAX **059-269-5588**
●四日市あすなろ鉄道八王子線「西日野駅」下車、徒歩6分
●四日市あすなろ鉄道内部線「南日永駅」下車、徒歩7分 ●三重交通バス「日永西」下車、徒歩すぐ



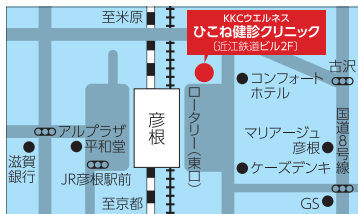
KKC健康スクエア ウエルネス三重健診クリニック



〒514-0131 三重県津市あかつた4丁目1-3
TEL **059-253-7426** FAX **059-253-7131**
●伊勢自動車道「芸濃インター」より車で10分
●近鉄「津駅」よりバス30分「あかつた」下車



KKC ウエルネス ひこね健診クリニック



〒522-0010 滋賀県彦根市駅東町15-1 近江鉄道ビル2F
TEL **077-551-0500** FAX **077-551-0650**
●JR琵琶湖線・近江鉄道 彦根駅下車東口すぐ



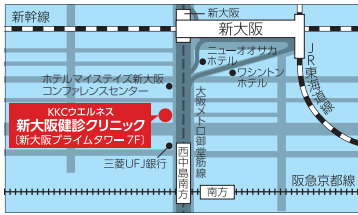
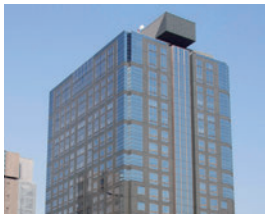
KKC ウエルネス 栗東健診クリニック



〒520-3016 滋賀県栗東市小野501-1
TEL **077-551-0500** FAX **077-551-0650**
●JR草津線 手原駅より徒歩20分
●JR琵琶湖線 草津駅よりタクシーで10分



KKC ウエルネス 新大阪健診クリニック



〒532-0011 大阪市淀川区西中島6-1-1 新大阪プライムタワーF
TEL **06-6397-1001** FAX **06-6397-2255**
●地下鉄御堂筋線 新大阪駅より徒歩5分 ●JR新大阪駅より徒歩7分
●阪急京都線 南大阪駅より徒歩5分 ●地下鉄御堂筋線 西中島南駅より徒歩3分



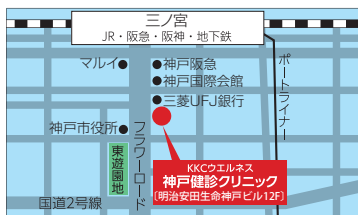
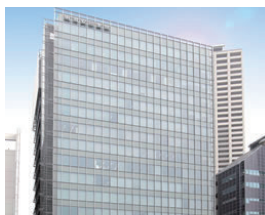
KKC ウエルネス なんば健診クリニック



〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-10-4 南海SK難波ビル10F
TEL **06-6397-1001** FAX **06-6397-2255**
●地下鉄 御堂筋線・四つ橋線・千日前線 なんば駅 6番出口より徒歩1分
●南海 なんば駅より徒歩3分 ●JR・近鉄 難波駅より徒歩5分



KKC ウエルネス 神戸健診クリニック



〒651-0086 神戸市中央区磯上通 8-3-5 明治安田生命神戸ビル 12F
TEL **06-6397-1001** FAX **06-6397-2255**
●JR・阪神・阪急・地下鉄 三ノ宮駅より徒歩5分



【本部】
〒520-0812 滋賀県大津市木下町10番10号
【健康情報事務センター】
TEL : 077-525-3233 / FAX : 077-525-3900
URL : <https://www.zai-kkc.or.jp/>

主たる登載・登録

生活習慣病予防健診実施機関
ISO9001:2015認証取得(登録No.JQA-QM5829)
日本人間ドック学会機能評価認定施設
ISO14001:2015認証取得(登録No.JQA-EM2699)
ISO/IEC27001:2013認証取得(登録No.JQA-IM1112)